

サービス・システム名称	大分類
i-learn.jp 「日本の学校」	ライフ ビジネス
小分類(複数記入可)	
安心・安全 医療 食 教育 文化 コミュニティ 見守り・介護 就労・労働 人材育成 電子 認証・決済 コンテンツ制作・流通 防災・災害対策 地理的情報格差解消 アクセシビリティ セキュリ ティ対策 交通・物流 業務効率化 ポータルサービス 行政サービス その他()	
u - Japanの理念(複数記入可)	ユビキタス ユニバーサル ユーザ ユニーク
企業または団体名	
国際大学グローバル・コミュニケーション・センタ	
サービス・システムの概要	
i-learn.jp 「日本の学校」(http://www.i-learn.jp/schools/)は教育情報化研究の一環として、全国学校サイトの検索サービスを提供している。2000 年以降、学校サイトの活性度を示すトップページ更新履歴を収集蓄積していることから、活発な学校が簡単に抽出可能となった。学校側のサイト運用努力を見守り、埋もれがちな実績を発掘するための情報拠点となっている。	
サービス・システムの狙い(利用想定層、開発・提供のきっかけ)	
多くの親達や地域市民は、学校で日々何が起きているのか知りたいと願っている。一方で、学校は地道な教育活動が社会に認められ、信頼を取り戻したいと考えている。両者の願いをつなぐ有効な手段が学校サイトである。学校に関心を寄せる人々にとって、最も説得力を持つ情報とは、当事者の学校が日々発信する地味でベタな情報に他ならない。マスメディアが作り出す荒廃した学校イメージを一掃し、学校への信頼を回復するには、教育現場自ら行動を示すことが必要である。しかし、学校サイト運営の社会的意義は評価されにくく、実績や成果は埋没しやすい。この課題を解決するため、オープンなネットの特性を活かし、各地の地道な努力を集約・可視化するシステムを着想するに至った。	
サービス・システムの特徴・特記事項	
全国の学校サイト約3万3千件を収録、毎日12時間おきに各サイトの更新状況を自動巡回調査し、更新履歴をすべて記録している。過去更新実績に基づくサイト活性度が逐次把握でき、さらに、教育関係者は更新履歴をさかのぼって取得可能。研究目的のため、すべての機能は無料で提供されている。	
利活用の状況	
提供地域 限定せず 導入主体 国際大学グローバル・コミュニケーション・センタ 提供開始年月日 1995年2月(開発年月日) 1994年12月	
定量的導入効果	
当サイトの直接効果とは言えないが、i-learn.jp が蓄積する更新記録の統計によれば、年間100日以上更新する学校の数は、2002年68校、2003年91校、2004年333校、2005年910校であり、この2年間で10倍の急速な伸びを示した。学校サイトの有用性が徐々に認知されてきたものと考えられる。	
定性的導入効果	
学校サイト運用者からは、当サイトは活動実績を示すインジケータとして励みになるとの感想が多数寄せられている。また、学校広報への関心の高まりから、ニュースや学校紹介欄への投稿も盛んに行われるようになった。	
導入に当たって克服した課題(苦労をした点・工夫)	
第三者が学校に関するデータを収集公表し、広く認められるためには、客観性・公平性が欠かせない。研究的観点からも、継続的にデータ収集の精度を高めることが必要と考えている。	
現状の課題、今後の展開など	
学校教育の情報化は、学校に関わるすべてのステークホルダに益するものでなくてはならない。インフラやハードウェア整備のみならず、広範な利活用の実績についても注目する必要がある。学校サイトの運用実績・活性度は、公共機関の果たすべきアカウンタビリティの側面からも重要であり、今後は、これらデータが学校・自治体の情報化進捗を示すパラメータとして比較検討できるよう、データ収集精度の向上や公表方法について検討を重ねていきたい。	
過去の表彰歴、報道等	
i-learn.jp は全日本小学校ホームページ大賞(通称 J-KIDS 大賞)の開催および選考に協力している。報道資料等は http://www.j-kids.org/ を参照のこと	
本件の問合せ先	国際大学グローバル・コミュニケーション・センタ 教育情報発信プロジェクト 電話: 03-5411-6697(直通) E-mail: info@i-learn.jp